

大学名	福岡歯科大学
講座、分野（教室）名	成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野
主任教授	尾崎 正雄

講座の特色

分野の特徴：本分野は、1973年11月に、故吉田穰教授のもとで西日本地区において初めての小児歯科教室として開講しました。当時の福岡市はむし歯の洪水状態で、患者さんに数か月の診療待ちをして頂くほどだったようです。その間に、21世紀となりバブルがはじけて経済が縮小し、また少子高齢化を迎えたことで、私が入局した32年前のように患者が押し寄せることも無くなり、教室としても新たな診療および研究形態に移行する時期となりました。現在の医局員は、教授1、准教授1、講師2、助教2、の教員で構成されており、3名の小児歯科専門医指導医そして1名の専門医で構成されています。若手医局員と学生への指導を兼ねて、朝8時からの早朝カンファレンス（全初診患者のカンファレンス）と週一回夕方に行われる症例検討会を行い、臨床面での幅と質の向上を図っています。私達は、8020運動の出発点が小児歯科であることを年頭に、日本の将来を支える子供たちの健康を守るためにも、小児歯科の必要性を学生や研修医に教育し、優れた小児歯科専門医を育てたいと考えています。特に本分野は咬合誘導と外科的小手術に力を入れており、紹介患者も多い診療科となっています。また、全身麻酔下での集中歯科治療や小手術も毎週1回のペースで行っています。福岡歯科大学医科歯科総合病院は、2020年10月に新病院を開設予定で準備を進めており、新病院ではユニット数も増える予定です。

診療室の実際

病院

設備	チェア一数：台	10台
	個室：室	1室
スタッフ	受付：名	0名
	歯科衛生士：名	4名

※

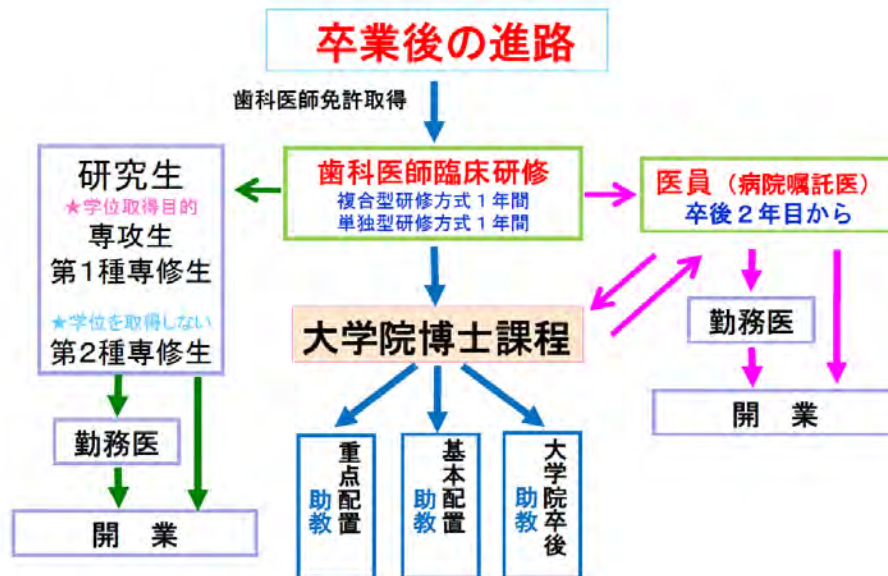




大学名		福岡歯科大学	
講座、分野（教室）名		成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	
主任教授		尾崎 正雄	
講座医局員研修プログラム責任者		岡 暁子	
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称			
講座医局員研修プログラムの特色			
毎週水曜と木曜は朝8時から早朝カンファレンス（全初診患者のカンファレンス）とまた、週一回夕方に症例検討会と抄読会を行い、臨床面での幅と質の向上を図っています。私達は、8020運動の出発点が小児歯科であることを年頭に、日本の将来を支える子供たちの健康を守るためにも、小児歯科の必要性を学生や研修医に教育し、優れた小児歯科専門医を育てたいと考えています。特に小児の対応法による基本的な診療をベースとして、3名の指導医と5年目以上の医局員が治療の指導を行っている。また、本分野は咬合誘導と外科的小手術に力を入れており、紹介患者が口腔外科の次に多い診療科となっています。また、全身麻酔下での集中歯科治療や小手術も毎週1回のペースで行っていますので、全身管理も学べます。			
講座医局員研修プログラムの内容			
大学院生		臨床専門専修科生・研究生・レジデント・医員	
1年目	大学院講義（基礎医学、小児歯科講義） 基本的な研究手技取得のための実習 医局講義（小児の対応法、小児歯科治療の基本） 研究内容に応じた臨床経験、小児の対応法、緊急時対応法、高頻度小児歯科治療、予防管理法など	1年目	小児の対応法、緊急時対応法、高頻度小児歯科治療、予防管理法など
2年目	研究テーマに合わせた、実験方法の習得、文献取得、咬合誘導と外科的小手術を本人のレベルに合わせて指導して行きます。患者担当され、担当医として管理していく。入局して5年後には小児歯科専門医の申請資格を得るために必要な、症例資料作成法など	2年目	咬合誘導と外科的小手術を本人のレベルに合わせて指導して行きます。患者担当され、担当医として管理していく。入局して5年後には小児歯科専門医の申請資格を得るために必要な、症例資料作成法など
3～4年目	学位取得を目指して研究活動を行います。	3年目	医員または専攻生で大学に在籍し、キャリアを磨きます。

大学名	
福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分	
主任教授 尾崎 正雄	

本学の研修医修了者のキャリアデザインに向けてのフローチャート



詳細

大学院生	臨床専門専修科生
講座への入局希望受付期間：平成30年12月まで	講座への入局希望受付期間：随時
願書提出時に必要な書類： 本学所定の履歴書および専学成績証明書	願書提出時に必要な書類： 本学所定の履歴書

問い合わせ先：（福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野） mozaki@college.fdcnet.ac.jp

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1 TEL：092-801-0411

本学に在籍したことがない者のキャリアデザインに向けてのフローチャート

本分野は、他大学出身者にも門戸が開かれており、特に研修内容に差はありません。また、他大学生においても大学院特待制度が適応されます。

【第一種特待生】対象：2年生～4年生

本学大学院において、前年度に学位申請に関連のある論文を筆頭著者として執筆した者又は前年度にこれに準ずる業績を有する者のうち、リサーチワーク実績が優秀である者に対して年間120万円を給付する。

【第二種特待生】対象：本学若しくは他大学の学部における特待生制度又はそれに準ずる制度で表彰を受けたことのある者

本学若しくは他大学の学部における特待生制度又はそれに準ずる制度で表彰を受けた者に対して、**大学院在学中の授業料（4年間総額280万円）を全て免除する。**

※H29年度入学者16名のうち、2名が該当。